

---

## 参考. 報道発表資料

---



## 「ESTスタート・セッション」の開催について（お知らせ）

平成18年3月10日

環境省水・大気環境局自動車環境対策課

課長 岡部 直己（内線 6520）

課長補佐 垣下 禎裕（内線 6526）

担当 児玉 知之（内線 6527）

環境省、警察庁、国土交通省は、環境的に持続可能な交通（EST; Environmentally Sustainable Transport）の実現に向けた取り組みを推進するため、ESTの実現に向けて取り組む地域の状況を紹介し、これらの各地域における取り組みに関する情報の意見交換をフォーラム形式で行うシンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、京都議定書目標達成計画における「環境的に持続可能な交通（EST）の実現」の取組であり、地球温暖化対策推進本部において各省連携施策の一つとして位置づけられているESTモデル事業の一環として行われるものです。

環境省では、今後、本シンポジウムの結果などESTモデル事業の成果をとりまとめ、得られた知見や課題等の情報を広く提供し、ESTの実現に向けた取り組みの普及と啓発を推進していきます。

なお、本シンポジウムは、入場無料です。

### 1. 開催日時

平成18年3月17日（金） 13:00～16:30

### 2. 会場

虎ノ門パストラル（港区虎ノ門4-1-1）

（東京メトロ神谷町駅から徒歩2分、東京メトロ銀座線虎ノ門駅より徒歩8分）

### 3. 主催（共催）

環境省、警察庁、国土交通省

### 4. シンポジウムの概要（詳細は別添資料1）

- 基調講演－「日本の都市におけるEST展開のあり方」（名古屋大学 森川高行教授）
- 主催者講演
- ESTモデル地域からの報告
- ESTテーマ別ラウンドテーブル－本音で話し合うESTモデル地域の現状と課題－

### 5. 参加申込みについて

参加費は無料です。参加をご希望の方は、別添資料1の裏面を参照の上お申し込み下さい。

### 6. 取材について

当日の取材は自由です。当日、報道受付にお越し下さい。

別添資料1 「ESTスタート・セッション」開催ご案内

別添資料2 京都議定書目標達成計画（抜粋）

別添資料3 環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業について

## 「ESTスタート・セッション」開催ご案内

このたび、EST（Environmentally Sustainable Transport：環境的に持続可能な交通）の普及促進を図るため、政府と連携してESTモデル地域の取組み状況について紹介する「ESTスタート・セッション」を以下のとおり開催します。

OECDが「長期的な視野で環境面から持続可能な交通を踏まえて交通・環境政策を策定・実施する取組み」として提案したESTは、地球温暖化に対し強い危機感を抱いている欧州諸国で盛んに取り組みられており、わが国でも、平成17年度より政府においてESTの推進を目指す先導的な地域を関係省庁と連携して集中的に支援することとなり、モデル地域を選定し、各地域において事業を進めております。

今回のESTスタート・セッションは、平成16年度および17年度に選定されたESTモデル地域に関する取組み状況から得た知見を一般に広めるべく、有識者による講演やESTモデル地域の代表者による意見交換等をおこなうものです。

このESTスタート・セッションは、一般公開としておりますので、以下のプログラム等をご覧のうえ、ふるって御参加下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

日時：平成18年3月17日（金） 13：00～16：30（12：30～受付）

会場：虎ノ門パストラル 本館1F 葵の間

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1 TEL：03-3432-7261（代）

主催：国土交通省、環境省、警察庁

事務局：交通エコロジー・モビリティ財団 株式会社日本能率協会総合研究所

プログラム：

- |       |   |
|-------|---|
| 13：00 | 開会挨拶（国土交通省総合政策局、環境省水・大気環境局）   |
| 13：05 | 基調講演 日本の都市におけるEST展開のあり方<br>(名古屋大学 森川高行教授)   |
| 13：30 | 運輸部門における地球温暖化対策の推進と環境的に持続可能な交通を目指して<br>(国土交通省総合政策局)   |
| 13：50 | ESTへ活用可能な交通管理システムについて<br>(警察庁交通局)   |
| 14：10 | 多様な取組みが期待されるEST<br>(環境省水・大気環境局)   |
| 14：30 | 支援制度を活用したESTモデル地域からの報告<br>1) LRT整備と連携したEST取組みと将来期待（富山市）<br>2) ESTにおける行政と地域企業との連携（トヨタ自動車）                                    |
| 15：10 | テーマ別ラウンドテーブルについて（事務局）<br>(休憩・部屋間移動 15：15～15：25)   |
| 15：25 | 本音で話し合うESTモデル地域の現状と課題ーテーマ別ラウンドテーブルー<br>葵の間＋2部屋 合計 3部屋でのテーマ別討議<br>「バス、鉄道との連携による環境貢献」、「モビリティ・マネジメントの展開」、<br>「観光型都市における環境との共生」 |
| 16：25 | 閉会  |

同時開催 ESTステークホルダー会議

問い合わせ先：ESTステークホルダー会議実行委員会事務局（TEL：080-6582-6153）

日時 平成18年3月17日（金）14：00～3月18日（土） 場所 新横浜プリンスホテル

我が国として 目指すべきESTの方向性に関する社会的合意を得るために優先して解決を図るべき論点を明確にすることを旨としてESTモデル地域関係者を含む国内各所の実務家が話し合います。

**会場案内図**

東京メトロ日比谷線  
神谷町駅下車4b出口より  
徒歩2分

東京メトロ銀座線  
虎ノ門駅より徒歩8分



**参加費：無料**

申込方法：①、②のいずれかの方法でお申込ください。（定員になり次第〆切）

①FAXによる申込

下記申込用紙に必要事項をご記入の上、切り取らずこの用紙毎ファクシミリにてお送りください。

②E-mailによる申込（申し込み後1週間以上返信が無い場合は、TELにてお問合せください）

参加者人数、参加者所属・氏名、連絡先（担当者名、所属、郵便番号、住所、TEL、FAX、E-mail）を記入し、下記E-mailアドレスに送信ください。（“p1”の“1”は半角数字の1です）

E-mail 申込先: tpr\_p1@jmar.co.jp

問合せ先 申込先：会議開催窓口  
 (株) 日本能率協会総合研究所 交通研究部 (平石、飯塚)  
 TEL 03-3578-7584 / FAX 03-3432-1837

----- 申込用紙（切り取らずA4サイズのままお送りください） -----

**FAX 03-3432-1837**

ESTスタート・セッション（平成18年3月17日）に参加します。

参加者名	参加者人数 名	
	機関名・部課名	
	氏名	
連絡先	担当者名	
	所属	
	住所	(〒 — )
	TEL	FAX
	E-mail	

京都議定書目標達成計画（平成17年4月28日閣議決定）（抜粋）

第3章 目標達成のための対策と施策

第2節 地球温暖化対策及び施策

1. 温室効果ガスの排出削減、吸収等に関する対策・施策

(1) 温室効果ガスの排出削減対策・施策

① エネルギー起源二酸化炭素

ア. 省CO<sub>2</sub>型の地域・都市構造や社会経済システムの形成

(前略)

○環境的に持続可能な交通（E S T）の実現

旅客部門の二酸化炭素排出量増加の主因となっている自家用乗用車への過度の依存を抑制し、環境的に持続可能な交通（E S T: Environmentally Sustainable Transport）を実現するため、E S Tの推進を目指す先導的な地域を募集し、公共交通機関の利用促進、交通流の円滑化対策、低公害車の導入促進、普及啓発等の分野における支援策を集中して講ずる等、関係省庁が連携して地域特性に応じた意欲ある具体的な取組に対する施策を強化する。

(後略)

# 環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

- ◇ 環境的に持続可能な交通の実現を目指す先導的な地域を募集し、関係省庁、関係省庁、関係部局の連携により集中的に支援
- ◇ モデル事業には、環境目標の設定・検証、取組効果の持続性の確保を求め、環境の観点から施策の効果を確認
- ◇ 自治体、地元経済界、交通事業者、道路管理者、警察関係者、NPO等、地元の幅広い関係者が参加して事業を推進

## モデル事業のメニュー例



環境改善目標の設定（CO2排出削減量等）

取組主体（事業者等）の継続的・自立的取組の確保

地域における交通環境改善の先導的事例を全国に拡大

別添資料3



## 平成16年度に選定されたESTモデル事業実施地域

	テーマ	応募主体	概要
1	人と環境を重視した新しい時代の都市交通の創出「さっぽろ都市交通計画推進事業」	札幌市	公共交通を軸とした交通システムの充実、適正な自動車等の利用による交通の円滑化、道路空間の再配分による都市再生の具体化等により、人と環境を重視した新しい時代の都市交通の創出を目指すもの
2	環境負荷の小さい交通への転換(環境的に持続可能な交通(EST)への転換)	仙台市	公共交通による移動時間短縮施策、公共交通サービス向上施策、TDM施策、景観・緑化事業等の推進により軌道系交通機関を基軸とした集約型市街地の形成や杜の都にふさわしい緑美しい都市の実現を目指すもの
3	「つくばエクスプレス」開業に伴う総合的な公共交通機関の利用促進	柏市 流山市	つくばエクスプレス開業に併せたバス路線の再編を中心に、コミュニティバスの導入、駅前広場や駐輪場の整備等による公共交通機関への利用転換や自転車を活用したまちづくり、低公害車の導入等による環境負荷の軽減を図るもの
4	三郷市及び八潮市全域をステージとした持続可能な交通環境づくりモデル事業	三郷市 八潮市	つくばエクスプレス開業に併せたバス交通ネットワークの再編、バス共通ICカードの導入、交通モード相互の情報提供システム整備等による公共交通利用促進策、三郷駅周辺の交通円滑化を進め、環境的に持続可能な交通環境の創出を目指すもの
5	富山市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業	富山市	富山港線へのLRT導入等公共交通の整備や交通拠点整備等による公共交通機関への転換を図るとともに、都市内道路空間の整備等交通円滑化、都市居住の推進により中心市街地の活性化を図り、環境にもやさしく持続可能な都市構造を目指すもの
6	地方都市圏における公共交通利用促進による地球温暖化防止実践活動の検証と定着	三重県	三岐鉄道の整備及び駅周辺事業を中心に、鉄道・バス利用者の利便性向上を図るとともに、パーク・アンド・ライドや普及啓発活動に取り組むことにより、三重県北勢地区において環境負荷の小さい交通への転換を目指すもの
7	交通モデル都市環境改善プロジェクト「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくりを目指す」	豊田市	通勤等のTDM施策の推進や、ITS技術を活用した総合交通対策に取組み、公共交通の利用促進や道路交通の円滑化等とあわせ、「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくりを進めるもの
8	京都都市圏における環境負荷が小さく便利で快適な移動環境づくり	京都府	京都議定書策定の地で、過度に自動車に依存したライフスタイルや土地利用を見直し、鉄道へのアクセス改善や通勤交通需要マネジメント等を含めた総合的な施策の組合せにより、環境負荷が小さく持続可能な都市圏づくりを進めるもの
9	古都奈良における平城遷都1300年記念事業に向けた交通流対策	奈良県	多くの来訪者が見込まれる平城遷都1300年記念事業に向け、公共交通機関の利用促進を図ることを基本に、道路等交通基盤整備やマイカー通勤の自粛等、ハード・ソフト両面から効果的に施策を進め、環境的に持続可能な交通を目指すもの
10	神戸の都市圏における環境的に持続可能な交通体系の確立	神戸市	歩行者に利用しやすいまちづくりと利便性の高い交通手段の整備の連携により、自動車からのCO2排出削減を図るなど神戸の都市圏における環境的に持続可能な交通体系を確立しようとするもの
11	松山まちづくり交通計画の推進	松山市	交通結節点整備、サイクル&バスライド等の公共交通機関の利用促進や、交差点改良等の道路整備、低公害バスの導入等、総合的な交通施策を講ずることにより、交通分野の環境負荷低減を図るもの



## 平成17年度に選定されたESTモデル事業実施地域

	テーマ	応募主体	概要
12	「環境先進都市～八戸」の理念に相応しい環境的に持続可能な交通(EST)への転換	八戸市	バスを中心にした公共交通の再編・再構築等により公共交通への利用転換を促進し、トランジットモーターの導入を検討することによって都心の再生を図るほか、低公害車バスの導入やITSの活用によるサービス改善、渋滞緩和や歩行空間の確保による道路整備を推進する。
13	環境共生モデル都市圏における地球環境にやさしい交通系づくり	神奈川県 神奈川県	平成17年11月22日に認定された「神奈川カーシェアリング利用促進特区」にあわせて、民間事業者によるカーシェアリングの県内拡大を図ることや、鉄道及びバスの利便性向上策により自動車交通から公共交通等への転換を図ることによって、地球環境にやさしい交通体系のまちづくりを目指す。
14	はだの交通スリム化推進事業	秦野市	近隣工業団地等における通勤時の交通マネジメント、PTPSによるバス走行改善、ノーマイカーデー、短距離区間の自転車通勤支援策等をおこない、公共交通の利用を促進し家用自動車に過度に依存しない広域的な街づくり・交通体系の構築を図る。
15	新潟都市圏総合都市交通計画におけるバス利用の推進	新潟市	バスを中心にした公共交通の再編・再構築、バスの運行状況の情報提供、パーク&バスライド等により公共交通への利用転換を促進し、新潟市の広域交通体系において公共交通による都心への結びつきを強くすることによって、賑わいのある都心の構築を図る。
16	金沢都心部の渋滞解消と公共交通の利用促進による環境負荷軽減	石川県	金沢市中心部周辺に設けた駐車場を有効活用したパーク&バスライド等を実施し、市中心部のバス交通の見直しや渋滞の原因であるボトルネック交差点を改良することにより、公共交通の利用促進等による環境負荷の軽減された観光都市を目指す。
17	大阪市における環境負荷の少ない都市内移動システムの確立	大阪市	地域一体型の事業者向けや学校向けのモビリティマネジメント、マップ等用いたTDM等の啓発事業を実施し、ICカードの導入や駅のバリアフリー化により鉄道・バスによる公共交通利用促進を図るほか、交通流の円滑化事業等を組み合わせて都市内移動の環境負荷軽減を目指す。
18	豊中市における人と街に優しい持続可能な交通をめざして 一とよなか夢創(輸送)プランの推進	豊中市	条例に基づくエコドライブの推進、自転車・公共交通利用マップ等による交通環境教育の実施、カーシェアリング等の実証実験のほか、低公害車導入アクションプランの推進、大阪大学と連携した持続可能な都市の評価とPR、バリアフリー施設の設定による公共交通への利用転換を図る。
19	尼崎西宮臨海部における環境にやさしい交通基盤・システムの構築モデル事業	兵庫県	国道43号と阪神高速湾岸線に挟まれた尼崎臨海地域における排気ガスによる大気への負荷を低減するため、バスの試験運行を開始し、自転車道の整備や歩行空間の確保を図ることによる自動車利用を抑制するほか、低騒音・透水性舗装の実施、木製防護柵等の道路施設を整備する。
20	広島における「ひと」・「環境」にやさしい交通系づくり	広島市	路面電車のLRT化や交通結節点の改善、低公害バスの導入等による公共交通利用の推進、自動車専用道路の整備や都心を通る自動車交通の排除、パーク&ライドや時差通勤、ノーマイカーデー、モビリティマネジメントによる交通需要マネジメントの推進等により、人間を中心に据えた環境への負荷の小さい持続可能な都市の形成をめざす。
21	福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化	福山市	交通円滑化総合計画に基づく地域における渋滞緩和を図るため、ノーマイカーデーを中心にした通勤交通対策の実施、学校教育におけるTFP調査の実施、公共交通機関の利便性向上を目指したレンタサイクル事業や駅前広場の整備により環境負荷軽減を推進する。

# ESTモデル事業

## 選定地域一覧(地図)

平成16年度選定 (1~11)

平成17年度選定 (12~21)





